



**成果のまとめ：**大会に向けた様々な取組によりスポーツ実施率が目標値の65%近くまで向上した。区にゆかりのある選手達には、スポーツや福祉関係のイベントだけでなく地域のイベント等にも参加してもらい、自らの競技経験やオリ・パラ出場への思いなどを区民に伝えられた。また、ボランティア事業や聖火リレーの運営協力に多くの区民の方に手を挙げていただき、地域力の定着により区民の中にボランティアマインドが醸成されていると感じている。

ホッケーでは、ゆいっつが日本代表の合宿時の宿泊先として活用されることになり、今後は、区民との交流も想定している。ブラジル事前キャンプでは、選手達との交流やブラジルの文化に触れることで国際感覚を醸成することができ、区施設での外国人選手受け入れのノウハウが蓄積されたほか、大使館との関係が強化され、今後の連携・協力につなげることができる。これらの成果は、大会のレガシーとして、今後の区の施策・事業に活かされ、さらに発展させていくための基礎になると考えている。